

# おおもり



令和元年 | 2月9日  
東根市立大森小学校  
学校だより 88号

## 心を育む給食週間で学んだこと！

12月2日(月)～6日(金)の一週間、本校では、「心を育む給食週間」として、学年を越えての交流給食や様々な掲示や校内放送での呼びかけ、大豆の箸つかみのコーナーなど、楽しく学べる企画がたくさんありました。

私も、大豆つかみにチャレンジしてみました。なかなか上手くつかめません。すると、子どもたちが「できるよ」と言って、自分がかめるところを見せて励ましてくれました。とっても上手な箸づかいに感心させられました。



### 学校給食が日本で最初に始まったのは？

ご存じの方もいると思いますが、日本の学校給食は、山形県鶴岡市で始まりました。

明治22年(今から130年前)。その当時、家が貧しく、お弁当を持ってこれない子どもがたくさんいたので、お寺の一角で小学校の勉強を教えていたお坊さんが、「おにぎり・焼き魚・漬け物」といった昼ご飯を出したのが始まりだと言われています。

その当時は、なかなか食べ物が手に入らない時代だったので、育ち盛りの子どもたちに少しでも栄養のあるものも提供したいと考えられたのが現在の給食につながっています。

鶴岡市の小学校では、今でも年1回「思いやりの心や優しさを感じ、忘れないでいてほしい」という願いをもって、塩おにぎり1個と焼き魚、漬け物の給食が出されています。

### 「いただきます」「ごちそうさま」の意味

「いただきます」にはどんな意味があるのでしょうか？

理由は2つです。一つ目は「食事にかかわってくれた方々への感謝」のあいさつです。料理を作ってくれた方、配膳をしてくれた方、野菜を作ってくれた方、魚を獲ってくれた方など、その食事にかかわってくれた方々へ感謝のこころを表します。

2つ目は、「食材への感謝」です。

料理の材料になる肉や魚はもちろんのこと、野菜や果物にも命があると考え、「〇〇の命を いただきさせていただきます」と、それぞれの食材に感謝します。そして、食事が終わると、「ごちそうになりました」「ごちそうさま」と感謝のあいさつをするのです。意味を知ると、「いただきます」も「ごちそうさま」も、とっても心が温かく、優しく丁寧な言葉だということに気づくことができますよね。

### ご家庭でも・・・。

毎日の食事の前後、ご家庭では「あいさつ」をしていますか？

今回の学校での学びを生かし、ぜひ、子どもたちには、いつの時も感謝の心がこもった「自然なあいさつ」ができるようになってほしいと願います。

いよいよ、令和元年も年の瀬を迎えました。年末年始は、家族や親戚そろっての食事なども多くなる時です。子どもたちの、「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつで、ますます元気で笑顔いっぱいの年末年始にしてください。

保護者の皆様、そして地域の皆様におかれましては今年1年、本当にお世話になりました。

来る令和2年もどうかよろしく願いいたします。

(校長 土屋 常 義)